

教科 名	地理歴史	科 目 名	日本史B	履修クラス	3年必履修選択	
				担 当 者		
使用教科書		『詳説日本史』(山川出版社)			履修単位数	4
副教材等		『図説 日本史通覧』(帝国書院)、『詳説 日本史ノート』(山川出版社)				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
① 日本歴史の展開について、世界史的視野から総合的に考察する。 ② 私立大学入試及び大学入学共通テストに対応できる学力を身につける。	以下の4観点を重視した評価を行う。 ①関心・意欲・態度、②思考・判断、 ③資料活用の技能・表現、④知識・理解

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考査 まで 24	原始・古代	第1章 日本文化のあけぼの(旧石器時代～古墳時代)
5			第2章 律令国家の形成(飛鳥時代) 第3章 貴族政治と国風文化(奈良時代～平安時代)
6	期末 考査 まで 28	中世・近世	第4章 中世社会の成立(鎌倉時代)
7			第5章 武家社会の成長(南北朝時代～室町時代) 第6章 幕藩体制の確立(江戸時代前期) 第7章 幕藩体制の展開(江戸時代中期) 第8章 幕藩体制の動揺(江戸時代後期)
9	中間 考査 まで 28	近現代①	第9章 近代国家の成立(幕末～明治)
10			第10章 近代日本とアジア(大正～昭和戦前期)
11	期末 考査 まで 28	近現代②	第11章 占領下の日本(1945～52年)
12			第12章 高度成長の時代(1950年代～70年代) 第13章 激動する世界と日本(1970年代以降)
1	3学年 特別 講習 期間	入試対策 主に大学入試の過去問を利用し、問題演習を実施する。	
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
① 大学受験に対応できる学力を身につけることを最大の目標とする。 ② 週4時間の授業である。テストはかなりの分量になるので、日々の学習を怠らないこと。 ③ 受け身ではなく、主体的・能動的に授業に参加し、質問も積極的にすること。